発行日　2025年　4月　No.95

彦根市立病院

# 地域連携だより

彦根市立病院
〒522-8539　滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL：0749-22-6050（代）

問い合わせ先　彦根市立病院　地域医療連携室
TEL：0749-22-6053　FAX：0749-22-6093

## いつもありがとうございます

## 地域のがん治療に全力を注ぎます
### ～通院治療センターをリニューアルしました～

地域連携センター長
通院治療センター長
よしかわ　こうへい
吉川　浩平

がんはいまや一生のうち2人に1人が発症し、3人に1人がそれにより死亡する身近な疾患です。一方、診断法や治療法の進歩により5年生存率は30年前と比較し20%以上改善しています。がんに対する治療は外科的切除、放射線照射、がん薬物療法、緩和医療がありそれぞれを組み合わせることもあります。

がん薬物療法は、いわゆる抗がん剤や分子標的薬、がん免疫療法薬、ホルモン剤を用います。以前は、使用方法や副作用の管理が難しいため入院で治療をすることが一般的でしたが、現在では有効で安全性の高い薬剤が開発され、支持療法の進歩もあり、外来で通院しながら治療をすることに移行してきています。家庭生活、社会生活をおくりながらがんを治療し、がんと付き合うことが可能となっています。

当院通院治療センターでは、がん化学療法看護認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、がん病態栄養専門管理栄養士など、専門知識をもつ多職種が集まり、知識を出し合って、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう取り組んでいます。通院でがん治療を行うことによる不安や疑問、副作用の心配など精神的に不安定になることもあると思います。通院治療センターでは、がんの専門知識をもった看護師や薬剤師が常在していることに加え、がん相談支援センターも隣接していますので物心両面でのサポートを可能にしています。

このたび通院治療センターを拡充、改築し新たなスタートを切りました。より快適に安全にがん薬物治療を受けていただく環境が整いました。湖東地域唯一の地域がん診療病院として、この地域のがん治療に全力を注ぎたいと気持ちを新たにしています。

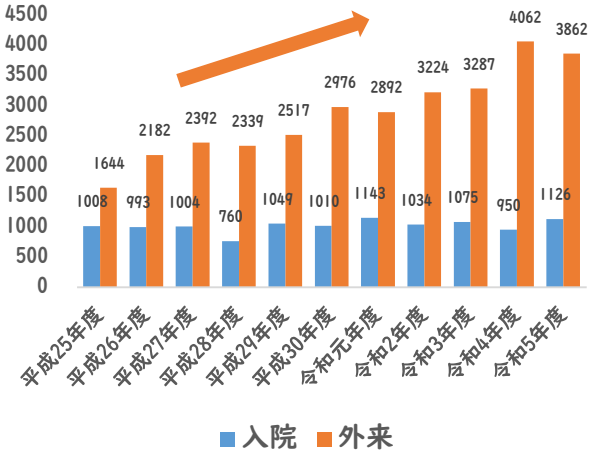
# 通院治療センターをリニューアルしました!!

4 2025

通院治療センターでがん薬物療法を受ける患者さんはこの10年で約2.5倍に増加しており、ここ数年は年間約4,000件の治療を担当しています。

近年、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬など、さまざまな作用機序を有する新薬が数多く承認されていることから、生存率が向上し、一人ひとりの患者さんの治療期間が長期化しています。また副作用に対する支持療法にも進歩があり、多くの患者さんが日常生活を送りながら治療を継続することが可能となってきました。それらの背景から、自宅で日常生活を送りながら通院で治療を受ける患者さんが増加しています。

がん薬物療法件数の推移
外来は10年で約2.5倍の件数




今回のリニューアルではそのようなニーズにお応えするために、治療ベッド数を15→20床（リクライニング12床ベッド8床）に増床し、湖東・湖北医療圏では最大規模となりました。また患者さんのプライバシーは確保しながら、安全に配慮できるよう全体を見渡せるワンフロアとなっており、窓が多く自然光いっぱいの明るいセンターに生まれ変わりました！窓からは犬上川と荒神山、そしてどことなく懐かしいような田園風景を眺めることができます。

Before

After

【Before】
５人部屋×３部屋
治療室とｽﾃｰｼｮﾝの間に廊下あり
全体を見渡せませんでした
そして、少し狭い空間でした

【After】
ワンフロア
中央にカウンター2つを設置し
全体を見渡せるため、
スタッフ同士の協力体制が
より強化されました。

# 通院治療センターについて

## アピアランス支援室

新たに『アピアランス支援室』を設けました。アピアランスとは“外見”を意味しています。治療により髪の毛が抜けることや、皮膚への副作用として湿疹や色素沈着が出現する場合があります。外見に出る副作用は、悪心などの身体症状に比べて、ボディイメージの変化とともに、他者の存在に依存する心理社会的な苦痛が含まれると言われています。それぞれの患者さんの苦痛の理解に努め、その人らしさを大切にできるようサポートさせていただきます。

※院内には国立がん研究センター主催の『アピアランス研修～応用編～』を修了した看護師が5名在籍しています！

## チーム医療で支える！

がん薬物療法は有害事象を伴いやすい治療ですが、治療や症状に関する悩みや心配事を和らげることができるよう、専門性の高い多職種チームで支えています。院内にはがん薬物療法を専門とする認定看護師3名、認定薬剤師4名、がん病態栄養を専門とする管理栄養士1名が在籍しており、自宅でのお困りごとに早期に対応しております。

## 患者さんの声

✿チームで看てもらっていると実感します
✿ここでは、信頼できる先生や看護師さんがいるので、治療は辛くても安心して療養を続けることができます。
✿ここに来ると何だかホッとします☺

**これからも厚い信頼のもと、**
**安心とぬくもりを届けられるよう、誠心誠意　取り組みます**

医療ソーシャルワーカーからの
## ワンポントアドバイス

当院でも取り組んでいます

### ～シリーズ第5弾　～治療と仕事の両立支援～

通院治療センターで化学療法を受ける方には、仕事をされている方もいます。治療を継続するうえで、経済的な問題は大きいものです。治療と仕事の両立には、仕事の職種や内容によって職場での配慮が必要となることがあります。

いま、全国的に両立支援の取り組みはすすんできています。両立支援とは、本人と医療機関と事業場の三者協働のもと、患者さんが安心して治療をうけ、仕事に取り組めるよう支援するものです。

### 当院での取り組み

- 滋賀県産業保健総合支援センター産業保健相談員による個別相談会の開催

  毎月第3水曜日　13時30分～15時30分　事前予約必要
- 療養・就労両立支援指導料注）を活用した主治医と産業医等との連携
- そのほか、就労に関する様々なお悩みについての相談

注）患者本人と企業が共同で作成した勤務情報に基づき、主治医が、患者に療養上必要な指導を実施し、企業に対して診療情報を提供した場合について評価するもの。対象となる疾患は、がん、脳血管疾患、肝疾患（慢性経過）、指定難病、心疾患、糖尿病若年性認知症となっています。

相談窓口　がん相談支援センター

## 令和7年　3月で退職の医師

### これまでお世話になりありがとうございました

呼吸器内科
渡邊　勇夫　医師

腫瘍内科
竹治　智　医師

消化器内科
山下　典亮　医師

脳神経外科
武内　就　医師

脳神経内科
佐々木　周　医師

形成外科
中西　佑太　医師

泌尿器科
奥村　勇太　医師

在宅診療科
青山　智俊　医師

在宅診療科
花戸　開　医師

整形外科
奥村　孝臣　医師

眼科
岡本　庄一郎　医師